

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援
主な取組	島しょ国の水産業にかかる技術交流・技術協力		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・農林水産分野において、JICA沖縄や市町村等と連携し、島しょ地域等からの海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
JICA実施の南太平洋・インド洋・カリブ海等の島しょ国向け研修における講義や教材資料に対する協力を行う。	JICA沖縄県漁協等	JICA実施の南太平洋・インド洋・カリブ海等の島しょ国向け研修における講義や教材資料に対する協力		
		遠隔研修を含む研修員受入人数(累計)		
		7人	7人(14人)	7人(21人)
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課	【 098-866-2300 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	その他			主な財源	実施方法	当初予算額
—	その他			—	その他	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
関係機関（JICA等）が実施する海外研修生の受入による技術協力や交流支援に対応し、水産分野における国際協力の推進を図る。				関係機関（JICA等）が実施する海外研修生の受入による技術協力や交流支援に対応し、水産分野における国際協力の推進を図る。		

活動指標名	遠隔研修を含む研修員受入人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	7人	8人	17人	7人	100.0%	順調	①JICA水産課題別研修（6カ国11名受入） ②OFCF一本釣り研修コース（パラオ研修生6名受入）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値の受入人数を上回る研修協力依頼に対応したことから「順調」と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 研修受講生からのアンケート内容を分析する 感染症対策による遠隔研修の場合はビデオ討論等を行う 関係機関（JICA等）との連携強化により、講義資料の質を向上する 	<ul style="list-style-type: none"> JICA研修受託者から提供された前年度のアンケート結果をもとに講義資料を修正した 全て現地研修であったことから対面方式の意見交換等を実施した

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	感染症対策の緩和に伴い、JICAが募集する研修への要望数が増加している パラオ共和国と沖縄県のMOU締結の結果、人材交流や現地技術指導に対する要望が増加している	② 連携の強化・改善	研修国や人数の増加要望に対応するため、講義依頼以外の事務負担の軽減を図る。 関係機関と意見交換を活発に行い、県内受入機関における円滑な研修プログラムの実施を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援
主な取組	沖縄・台湾技術交流推進事業		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・農林水産分野において、JICA沖縄や市町村等と連携し、島しょ地域等からの海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄県と中華民国台湾は地理的条件が類似しており農林水産分野で協同して有望種を導入し生産性と品質向上及び安定生産に努めてきた。引き続き技術・研究交流を継続し本県農林水産業の振興及び善隣友好を図る。	県	農林水産業の振興及び善隣友好のための研究交流の実施			
		技術研究会の開催、技術習得のための研究員派遣回数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	農林水産部農林水産総務課		【 098-866-2254 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄台湾技術交流推進事業			予算事業名	沖縄台湾技術交流推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	0	863	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	1,080
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
台湾と沖縄の研究機関等との相互交流を図るため、琉台農林水産技術研究交流計画に基づき5名の研究員を派遣した。				台湾と沖縄の研究機関等との相互交流を図るため、研究員を台湾へ派遣する。		

活動指標名	技術研究交流会の開催、技術習得のための研究員派遣回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0回	0回	1回	1回	100.0%	順調	亜熱帯性作物に発生する病害虫の生態及び防除技術、施設園芸における栽培技術、新規品目に関する情報交換と技術交流を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
R4の研究交流により交流計画に掲げていた農業分野の課題の半数を実施することができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄と台湾双方の研究機関で十分に調整し、お互いの研究に対する理解を深めつつ、継続して研究交流が実施できるようにする。 ・ 各研究分野毎に課題や対応策を検討して作成した交流計画に基づき、台湾と沖縄の研究員の相互交流を実施するため、台北駐日経済文化代表処那覇分処との調整を密に行いながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスのパンデミックにともなう渡航制限等が解消されたことから、台北駐日経済文化代表処那覇分処との事前調整を行うとともに、各研究機関に対し交流計画に基づいた交流テーマに積極的に取り組むよう促した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	各研究分野毎に課題や対応策を検討して作成した交流計画に基づき、台湾と沖縄の研究員の相互交流の充実を図るため、各研究テーマにかかる交流が実施されるよう各研究機関へ積極的働きかける。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	交流が促進されることにより、各研究分野での沖縄、台湾間のネットワークが形成され、本県の農林水産業にかかる研究開発が進展する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○パラオEEZ海域における本県漁船の操業継続に向けた取組
主な取組	パラオ共和国との漁業協議等に係る支援		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	<p>・パラオEEZ海域（排他的経済水域）は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっていることから、本県漁船の操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行い、パラオとの友好関係強化を明確化するためのMOU（連携覚書）締結を進めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
・パラオとの漁業協議に関する情報収集・支援 ・両国間で開催される漁業協議への参加	県	漁業協議等に係る情報収集の実施及び協議への参加			
		漁業協議への参加数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課		【 098-866-2300 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	パラオEEZ操業継続支援事業			予算事業名	パラオEEZ操業継続支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	183	28,253	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	4,780
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
パラオとの漁業協議に関する情報収集したほか、令和4年10月に開催された漁業協議へ参加した。				パラオでの漁船漁業の技術支援等に取り組むとともに、当該国との漁業協議に関する情報を収集するほか、年1回開催される漁業協議へ参加する。		

活動指標名	漁業協議への参加数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

パラオでの漁船漁業の技術支援等に取り組むとともに、当該国との漁業協議へ向けた情報収集や意見交換を行い、毎年開催される漁業協議へ参加している。パラオEEZ内で安定的な操業継続のため、引き続き取組を継続していく。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	・漁業協議を円滑に進めるための友好関係強化の取組として、JICA事業によるパラオでの技術支援や人材交流の他、パラオ共和国との友好関係強化に関するMOU締結等を実施出来た。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	パラオ共和国との友好関係強化に関するMOUを締結し、水産分野に限らず、当該国との関係強化に取り組むこととなった。	② 連携の強化・改善	漁業協議に資する良好な関係を築くため、MOUに基づく関係強化を進めるほか、国やJICA等の行う国際協力事業とも連携を強化する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○パラオEEZ海域における本県漁船の操業継続に向けた取組
主な取組	パラオ共和国と沖縄県の友好関係の強化		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	<p>・パラオEEZ海域（排他的経済水域）は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっていることから、本県漁船の操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行い、パラオとの友好関係強化を明確化するためのMOU（連携覚書）締結を進めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
・パラオ共和国と沖縄県のMOUの締結 ・MOUに基づくワーキングチームの設置	県	パラオ共和国と沖縄県のMOUの締結		
		MOUの締結		
		締結	—	—
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課	【 098-866-2300 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	パラオEEZ操業継続支援事業			予算事業名		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	183	28,253	主な財源	実施方法	当初予算額
				—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年8月にパラオ共和国と沖縄県との友好関係強化に関する覚書(MOU)を締結し、令和5年3月にMOUに基づくワーキングチームを設置した。						

活動指標名	MOUの締結		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1	締結	0.0%	順調	パラオ共和国との友好関係強化に関する覚書(MOU)を締結した。 MOUに基づくワーキングチームを設置した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルスの影響により、MOU締結へ向けた協議が難航していたが、令和4年8月に無事締結することができた。今後は、締結したMOUに基づき、パラオ共和国との友好関係強化へ向けた取組が全庁的に進んでいくことが期待される。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<ul style="list-style-type: none"> パラオ共和国との友好関係強化のため、目標としていたMOUの締結を実現できた。 今後は、MOUに基づき、技術・人材交流に向け、交流推進課を窓口として各分野ごとにワーキングチームの設置および協働を進めていくことが期待される。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度のMOU締結により、今後、全庁的にパラオ共和国との技術・人材交流が進むことが期待される。	② 連携の強化・改善	他部局やJICA等の取組状況も注視しつつ、より効果的な技術支援や人材交流が行えるよう情報共有していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○パラオEEZ海域における本県漁船の操業継続に向けた取組
主な取組	パラオ共和国への技術支援等		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	<p>・パラオEEZ海域（排他的経済水域）は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっていることから、本県漁船の操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行い、パラオとの友好関係強化を明確化するためのMOU（連携覚書）締結を進めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄県が有する技術・人材等を活用した各種支援の実施	県漁協等	沖縄県が有する技術・人材等を活用した各種支援の実施			
		技術支援・人材交流等の実施回数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課		【 098-866-2300 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	パラオEEZ操業継続支援事業			予算事業名	パラオEEZ操業継続支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	183	28,253	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	4,780
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年8月に締結したMOUを記念し、パラオ共和国において県内企業の技術等を紹介するセミナーやネットワーキングを開催した。				水産分野ワーキングチームの取組として、パラオ共和国への水産専門家等を派遣し、人材交流および技術支援を行う。		

活動指標名	技術支援・人材交流等の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	1回	1回	100.0%	順調	パラオ共和国における技術セミナー及びネットワーキング開催 JICA事業による水産専門家のパラオ派遣(2回)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

パラオ共和国とのMOUの締結及び県内企業によるセミナー開催等により、パラオ共和国との他分野に及ぶ友好関係強化の素地を作ることが出来た。
JICA事業とうまく連携することにより、パラオへ専門家を長期派遣することができ、県費負担無く技術支援を実施することが出来た。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<ul style="list-style-type: none"> パラオ共和国との友好関係強化のため、目標としていたMOUの締結を実現することができた。 今後は、MOUに基づき、技術・人材交流に向け、交流推進課を窓口として各分野ごとにワーキングチームの設置および協働を進めていくことが期待される。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度のMOU締結により、今後、全庁的にパラオ共和国との技術・人材交流が進むことが期待される。	② 連携の強化・改善	他部局やJICA等の取組状況も注視しつつ、より効果的な技術支援や人材交流が行えるよう情報を共有する。